

都内主要繁華街における 滞留人口モニタリング

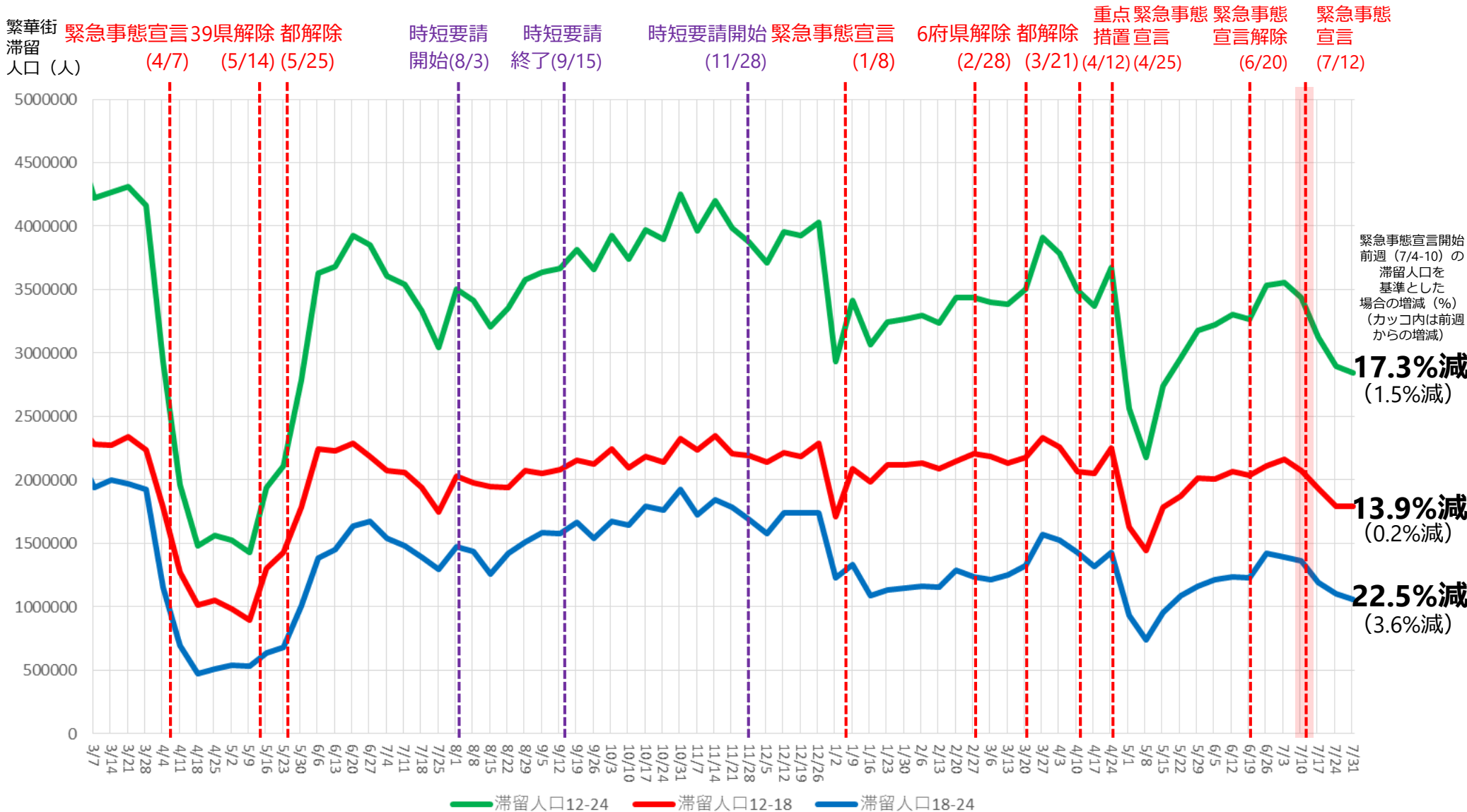
東京都医学総合研究所
社会健康医学研究センター
西田 淳志

都内主要繁華街 滞留人口モニタリング

<要点>

- 宣言発出後の3週間で夜間滞留人口は22.5 % 減少。ハイリスクな深夜帯（22～24時）の滞留人口も20.8%減少し、第3波時（従来株主流）の人流最低値と同水準まで到達。ただし、第4波時（ α 株主流）の人流最低値ラインには依然としてとどかず。
- 直近1週間では新規感染者数が過去最多を更新するなかで、夜間滞留人口は微減にとどまり（前週比：3.6% 減）、先週後半には増加に転じる。昼間滞留人口も減少傾向が止まりつつあり横ばいで推移（前週比：0.2% 減）。
- デルタ株の強い感染力を考慮すると、少なくとも前回宣言時と同水準を目指して、繁華街滞留人口を減少させるとともに、人と人との接触を極力減らすためステイホーム率を徹底して高めていくことが重要な局面である。

時間帯別主要繁華街滞留人口の推移（2020年3月1日～2021年7月31日）



時間帯別主要繁華街滞留人口の日別推移：東京（2020年10月1日～2021年8月4日）

緊急事態7/12-

繁華街
滞留人口
(人)

時短要請開始
(11/28)

緊急事態宣言
(1/8)

6府県解除
(2/28)

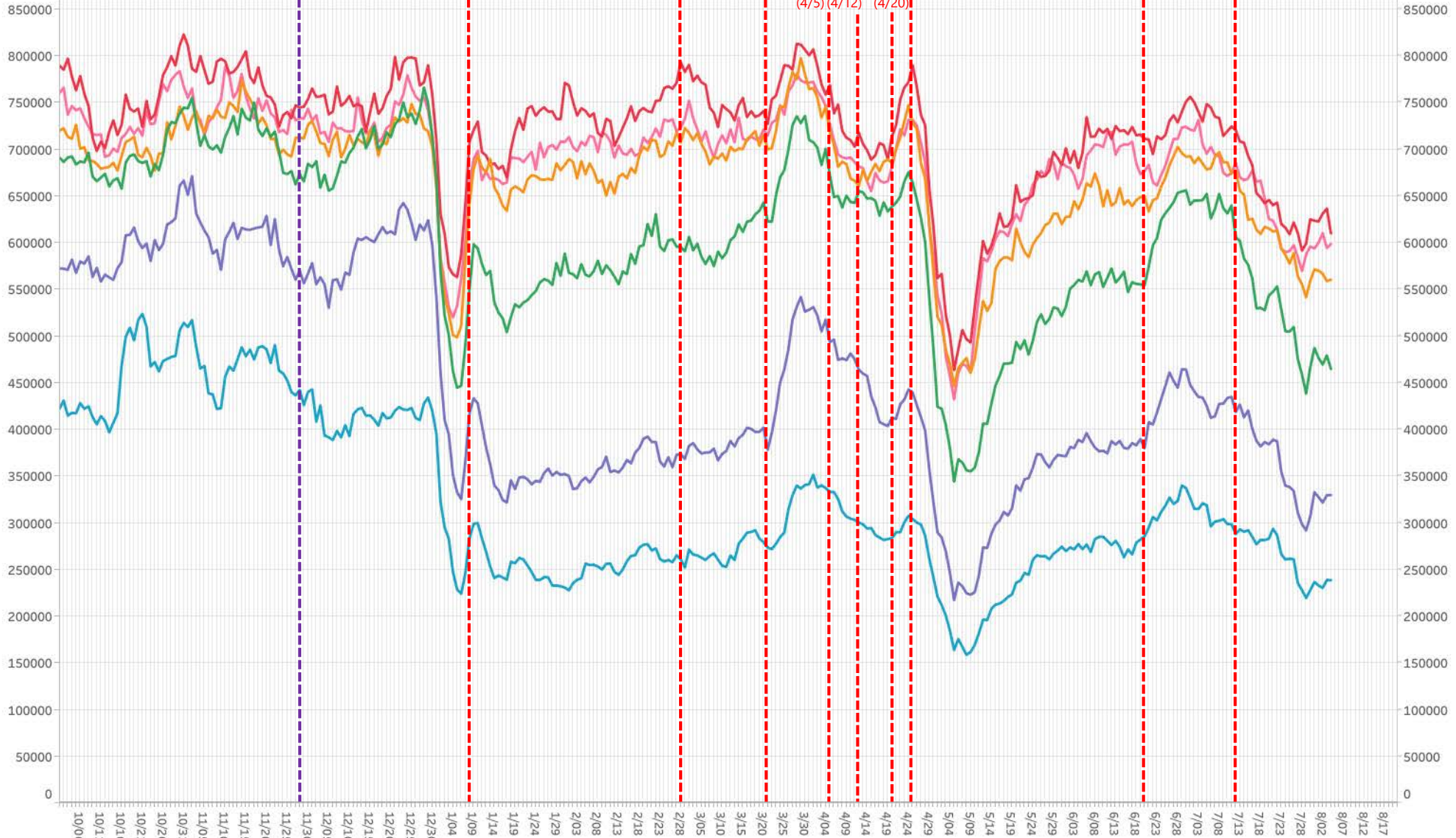
都解除
(3/21)

3府県重点措置
(4/5) (4/12)

4県重点措置
(4/25)

重点措置
(6/20)

緊急事態宣言
(7/12)



滞留人口12-14時 滞留人口14-16時 滞留人口16-18時 滞留人口18-20時 滞留人口20-22時 滞留人口22-24時

*対象繁華街は歌舞伎町・銀座コリドー街・渋谷センター街・上野仲町通り・新宿二丁目・池袋・六本木

前回（3回目）宣言時の繁華街滞留人口最低値との比較

	3回目 緊急事態宣言 最低値 (21.5.2-5.8) ※1	4回目 緊急事態宣言 開始2週間後 (21.7.18-7.24) ※2	4回目 緊急事態宣言 開始3週間後 (21.7.25-7.31) ※2
全体（12-24時）	40.7%減	15.8%減	17.3%減
昼間（12-18時）	36.0%減	13.7%減	13.9%減
夜間（18-24時）	48.2%減	18.9%減	22.5%減
18-20時	47.3%減	20.0%減	22.8%減
20-22時	49.3%減	21.7%減	23.3%減
22-24時	48.5%減	12.7%減	20.8%減

※1 3回目緊急事態宣言直前の週（21.4.18-24）の繁華街滞留人口を100%とした場合の比率

※2 4回目緊急事態宣言直前の週（21.7.4-10）の繁華街滞留人口を100%とした場合の比率

主要繁華街夜間滞留人口の推移と実効再生産数:東京 (2020年3月1日~2021年7月31日)

緊急事態7/12-

繁華街
夜間滞留
人口(人)

対象繁華街: 上野・銀座・六本木・渋谷
新宿二丁目・歌舞伎町・池袋

滞留人口22-24時

滞留人口20-22時

新規感染者数(報告日)

緊急事態宣言 39県解除 都解除
(4/7) (5/14) (5/25)

時短要請
開始(8/3)

時短要請
終了(9/15)

時短要請開始
(11/28)

緊急事態宣言
(1/8)

6府県解除
(2/28)

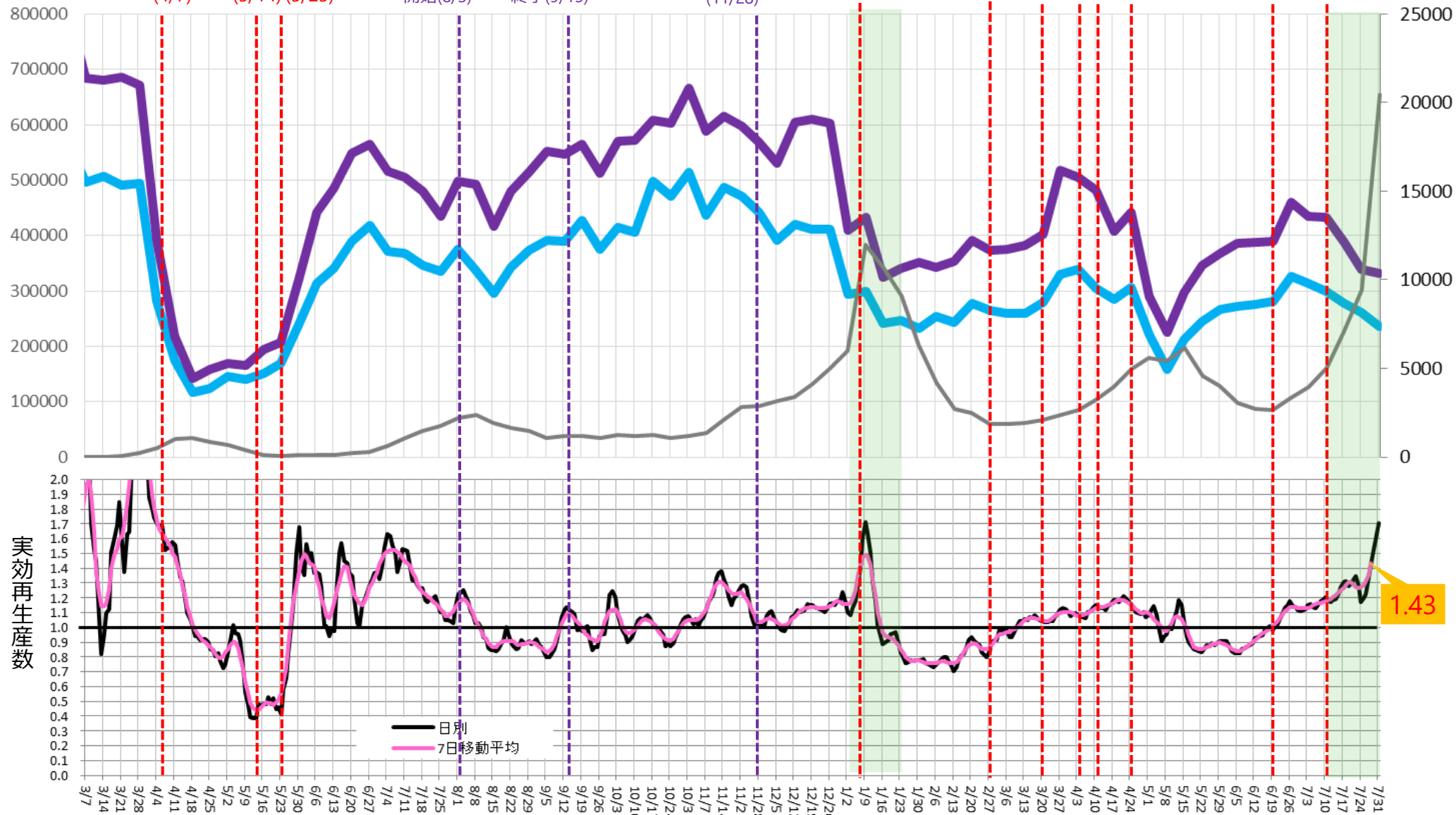
都解除
(3/21)

3府県都
重点重点
措置措置
緊急
事態
宣言
(4/5)(4/12)(4/25)

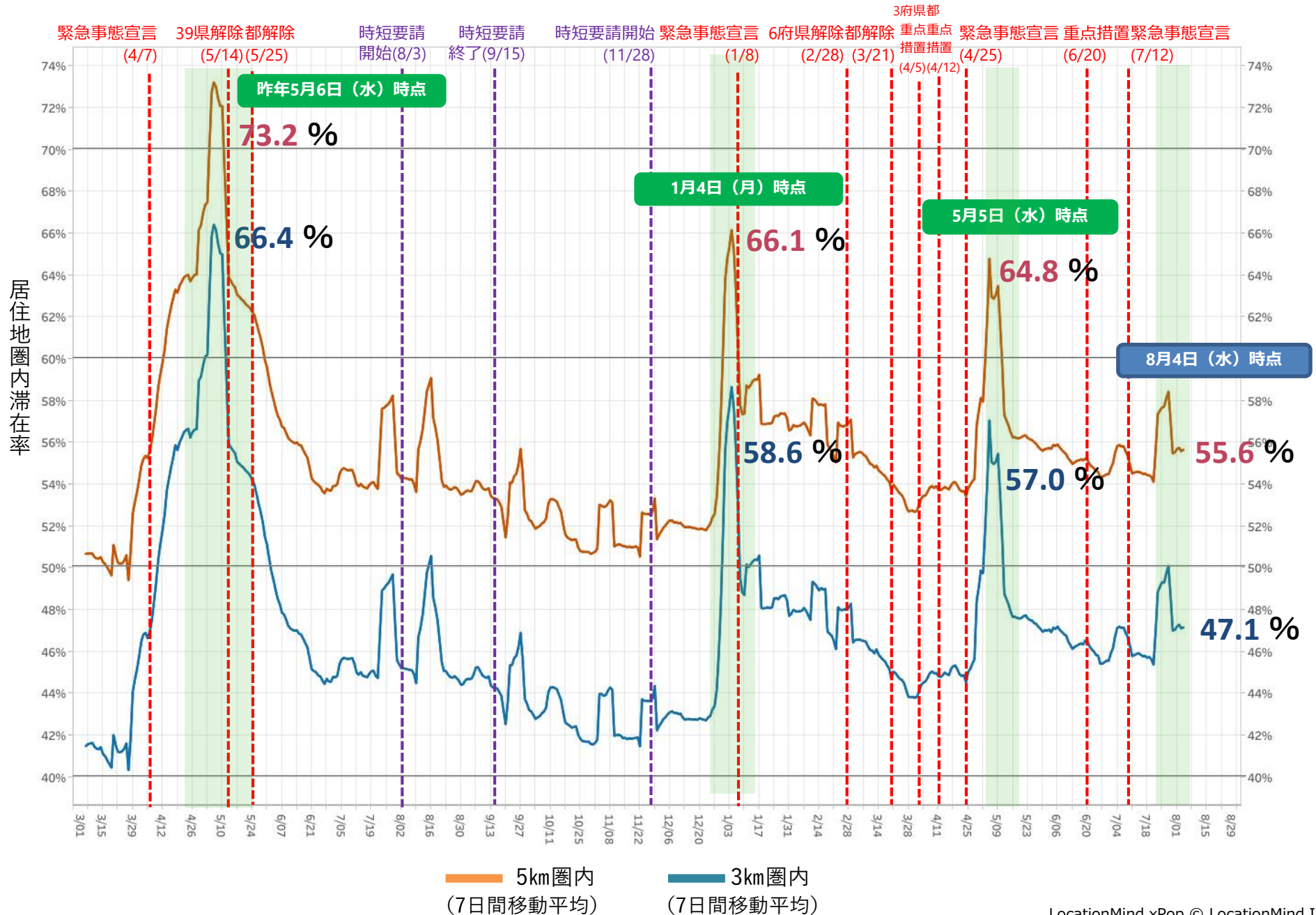
重点
措置
(6/20)

緊急
事態
宣言
(7/12)

週あたり
感染者数
(人)

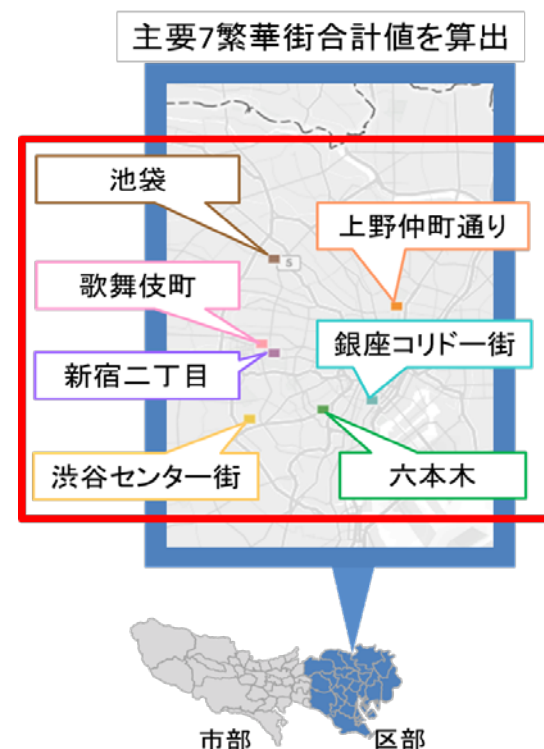
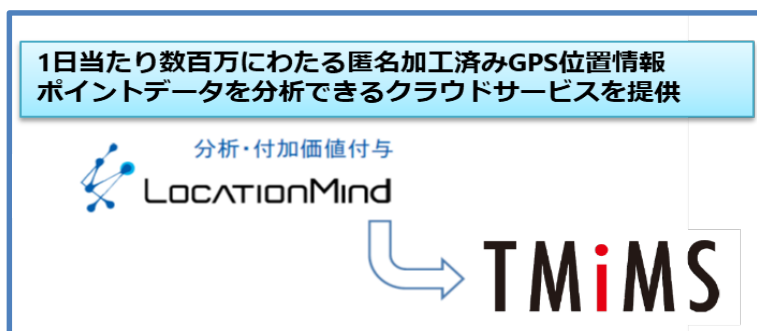


ステイホーム指標 (2020年3月1日~2021年8月4日) : 東京都内全域



ハイリスクな人流・滞留を正確にとらえる

- GPSの移動パターンから**レジャー目的の人流・滞留を推定**※
- **主要繁華街**にレジャー目的で移動・滞留したデータを抽出
- ハイリスクな時間帯の人口滞留量を
1時間単位で推定(500mメッシュ単位)
- **LocationMind ⇒ 都医学研 ⇒ 東京iCDC**



※GPS移動パターンから職場と自宅の場所を推定した後、
職場・自宅以外の15分以上の滞留をレジャー目的としてカウント

※レジャー目的の滞留人口をより正確に把握するために2021年7月より繁華街滞留人口の推定方法を改良している。

LocationMind xPopのデータは、NTTドコモが提供するアプリケーションサービス「ドコモ地図ナビ」のオートGPS機能利用者より、許諾を得た上で送信される携帯電話の位置情報を、NTTドコモが総体的かつ統計的に加工を行ったデータを使用。位置情報は最短5分ごとに測位されるGPSデータ(緯度経度情報)であり、個人を特定する情報は含まれない。